



## 新技術概要説明資料（2 / 5）

新技術名称

舗装クラック注入工法

登録No.

1612

## （特 徴）

（長 所）本工法は、線状クラックを補修することにより、亀甲状クラックに発展することを防止し、道路のライフサイクルコストを低減する効果がある。「アスファルト目地注入機」は、溶解温度調節機能や保温機能も有していることから、シール材の注入時の施工品質を確保できることも大きなメリットである。また、シール材の吐出量のダイヤル調節やノズル手元スイッチでシール材の吐出、停止が可能であり、均一な出来形確保も可能としている。

（短 所）「アスファルト目地注入機」の初期投資が必要である。

## （施工方法）

1. クラック箇所の清掃（砂や埃の除去）
2. プライマーの塗布（亀裂表面部分にプライマーを塗布）
3. シール材の溶解（使用材料の最適な温度により熔融）
4. シール材の注入（「アスファルト目地注入機（KNT-50）」による施工）
5. 付着防止剤の散布（石粉等注入表面に散布）
6. 交通開放（温度低下（常温）を確認）

<別紙参考資料-1舗装クラック注入工法作業手順参照>

## （施工単価等）

1(1). 歩掛りあり（標準）    1(2). 歩掛りあり（暫定）    2. 歩掛りなし

1(2)

掲載刊行物

建設物価（有・**無**） 掲載品目（ ）

積算資料（有・**無**） 掲載品目（ ）

その他（カタログなど）

（ <別紙参考資料-2アスファルト目地注入機KNT-50参照> ）

## 積算資料等

自社歩掛

## 施工管理基準資料等

- ・舗装設計施工指針（平成18年度版）日本道路協会
- ・舗装施工便覧（平成18年度版）日本道路協会
- ・舗装調査・試験法便覧（平成19年度版）日本道路協会

新技術概要説明資料 (3 / 5)

新技術名称	舗装クラック注入工法	登録No.	1612
<p>(適用条件)</p> <p>(適用できる条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アスファルト目地注入機 (長さ1,271mm、幅650mm、高さ1,152mm)」の搬入及び移動スペースがあること。</li> </ul>			
<p>(適用できない条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・降雨、降雪時には施工できない。</li> </ul>			
<p>(設計上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>			
<p>(施工上・使用上の留意点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工する舗装表面のクラック部は、水等で濡れていないこと。</li> <li>・作業終了時や休憩時などに「アスファルト目地注入機」のモーターを止める場合は、必ず洗浄油による循環洗浄を行うこと。</li> </ul>			
<p>(残された課題と今後の開発計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul>			
<p>(実験等作業状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注入材のシール幅と浸透深さの測定 → シール幅が安定している。</li> <li>・注入材の引張接着試験 → 比較的シール幅が安定し、引張接着力も高い。</li> </ul>			
<p>(添付資料)</p> <p>実験資料等</p> <p>&lt;別紙参考資料-3&gt;アスファルトケツトルとアスファルト目地注入機を使用した場合の品質並びに出来形の比較</p> <p>その他</p>			
特 許	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input checked="" type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input type="checkbox"/> 4: 無し	番号	2
実用新案	<input type="checkbox"/> 1. 有り (番号: ) <input type="checkbox"/> 2. 出願中 <input type="checkbox"/> 3. 出願予定 <input checked="" type="checkbox"/> 4: 無し	特許番号	2015-251065
		番号	4
		新案番号	
評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号	
	証明年月日	証明年月日	
	制度等の名称	証明機関	
	制度等の名称	制度等の名称	
	制度等の名称	制度等の名称	
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号	
	証明年月日	証明年月日	
	証明機関	証明機関	
	証明範囲	証明範囲	
	証明範囲	証明範囲	



## 新技術概要説明資料 (5 / 5)

新技術名称	舗装クラック注入工法	登録No.	1612
 <p data-bbox="197 808 715 837">「アスファルト目地注入機」を使用した注入状況</p>	 <p data-bbox="847 808 1433 837">従来技術:「アスファルトケトル」を使用した注入状況</p>		
 <p data-bbox="252 1431 655 1460">「アスファルト目地注入機(KNT-50)」</p>	 <p data-bbox="1070 1431 1209 1460">操作盤全景</p>		
 <p data-bbox="363 2051 550 2080">温度管理操作盤</p>	 <p data-bbox="1011 2051 1262 2080">注入材吐出ノズル先端</p>		